（資料提供）
令和８年１１月９日
戦略広報課　堀田
TEL：076-225-1229

令和６年能登半島地震アーカイブが
第８回デジタルアーカイブ学会賞を受賞

デジタルアーカイブ学会がデジタルアーカイブの振興と学会活動の発展に資する取組を表彰する「第８回学会賞」において、本県の「令和６年能登半島地震アーカイブ『震災の記憶・復興の記録』」が「実践賞」を受賞しました。

１．デジタルアーカイブ学会賞について（2018 年創設）

デジタルアーカイブの構築・運用・普及・継続発展等に優れた貢献をした個人・機関・団体を表彰するもので、デジタルアーカイブ学会会員からの推薦を元に、学会賞選考委員会での選考及び理事会の承認を経て決定します。

２．本県が受賞した実践賞について

デジタルアーカイブの構築・運用・普及・継続発展等に優れた貢献をした個人・機関・団体を表彰するもの。

<今回の受賞者>

石川県、東京文化財研究所、edit Tango、美馬市立図書館、
日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

※このほか、功労賞、学術賞があるが、表彰対象が異なり、賞による格付けは同格

３．受賞理由

- 令和 6 年能登半島地震の発生直後から記録を収集し、令和 6 年能登半島地震アーカイブ「震災の記憶・復興の記録」として公開している。
- 被災市町や国、全国の自治体、民間支援団体等の資料に加え、市民から提供を募った写真・映像、被災者・支援者の体験談、被災箇所の 3D モデル等、多様な資料を収録し、被害そのものだけでなく、復旧・復興の過程を記録の対象としている。
- 公開後も、令和 6 年 9 月の奥能登豪雨に関する資料や被災者等の証言を追加して資料を大幅に拡充するなど、復興の歩みとともにアーカイブを成長させ、災害の記憶と創造的復興に向けた記録の継承に取り組んでいる。
- 災害発生直後からの記録を、復興の過程とともに継続して蓄積・公開する取組は、今後の災害対応の参考となるものである。

４．表彰式

日　時：令和 8 年 11 月 7 日　16:20～
　　デジタルアーカイブ学会第 11 回研究大会にて
場　所：近畿大学東大阪キャンパス
出席者：石川県戦略広報監　中塚 健也